



シュウカイドウ

WABI◆SABI◆FUZEI



花に顔を近づけたら、甘い柑橘系の香りがありました。幼い頃、噛んだ記憶が蘇ってきます。石蹴りやがくれんぼの傍らにシュウカイドウは咲いていました。

ベコニアの葉は、長めのハート型で左右が中央に対して非対称になっています。花言葉は『片思い』葉の形が由来だそうですよ。

クリスマスローズの幼苗を見つけました。シュウカイドウの大きな葉の下はひんやりとして高原の涼しさです。苗はゆったりのんびり暑さを避けて育つのでしょおね。

■ 植え場所

【明るい日陰】が良いでしょう。冬の寒さや乾燥には比較的強いのですが球根やムカゴから芽が伸びだしてからは、夏の強い日差しが1日中さしている所よりも午前中だけ日の当たる場所や木漏れ日の下など明るい日陰をお勧めします。石垣、壁際、グランドカバー 木々の足元など、明るいピンクの花は涼しさを感じさせてくれます。

■ 水やり

庭うえで湿けている所ではほとんど必要がありません。鉢植えはベコニアの仲間と同じで、夏は用土の表面が乾いたら水をたっぷり与えて気温が下がる秋から冬にかけては干からびない程度の水やりです。ただし受け皿に水をためないことがベコニアを育てる基本です。

■ 肥料

球根なので無肥料でも育ちます。鉢植えでは春から夏にかけて育つときに緩効性の置肥や液肥を使用する程度で、チッソ分が多い肥料は根や茎は腐れる原因になります。



唯一耐寒性のあるベコニア。江戸時代からずっと愛されてきたピンクの花

produced by Yamatsuri-engei, Co., Ltd in Fukushima.

